



はじめてとらきち君からの手紙を読む方へ、はじめ君は店長の初孫です。多少の可愛いがりすぎは、お許し下さい。



はじめ君、男らしく機関銃を撃っています。お誕生日でも何でもありませんでしたが、昨夜一杯飲んでるときに、「はじめ君、明日バキュンバキュン買いに行こうか」と言ったのを覚えていたのです。昨年のお誕生日に同じおもちや屋さんに行きましたが、その時は女の子に人気のシルバニアのお人形のところから動かず、それを嬉しそうに抱きかかえて帰りました。今回もわざとシルバニアのコーナーの前を通り、「はじめ君、シルバニアだよ?」と試してみましたが、見向きもしませんでした。ちょっとホッとしました。

6月の初め、沖縄に「生命エネルギー」の研修会に行ってきました。笑いで痛みや難病が治ったり、くすりや化学療法ではなく、免疫を高めることによりガンが消えたりと、目に見えない力でどんどんよくなる私たちの体。奥の深い波動の研修です。認定士になるまではちょっとしたハードルがありますので、あなたのお役に立てるまで、もう少し時間を下さい。



那覇空港で出会った研修仲間と、斎場御岳(せーふあうたきと読みます)に行くことにしました。ここは沖縄県南城市にある、世界文化遺産、琉球王国最高の聖地です。今では、パワースポットとしても有名です。そこで私は不思議な体験をしてきました。



そこは、海以外は何もない山の上にあります。沖縄ではもう夏真っ盛りのはずなのに、なぜかひんやりとして幻想的です。入り口に立つと、見えない何かがいるようなのですが、心が落ち着きます。左の写真を見て下さい。私の体からオーラが出ています。寄満(ユインチ)、三庫理(サングーイ)と言われる場所で撮影しました。一緒行った9人の内、私の体からしか発しませんでした。



青色のオーラについて調べてみました。「情が厚く、自分の心と感情に従って生き、愛が一番重要であることを教えてくれる存在。このオーラの人の人生の目的は、人に仕え、助け、人を愛すること。青色のオーラの人、人類に仕えるために生まれてきた。」とあります。この色のオーラを発する最適な職業は、看護師、弁護士、

カウンセラー、個人経営者、教師等々だそう
です。毎日が真剣勝負の私の仕事が、青色の
オーラを出させたのでしょうか?一緒にいた
仲間たちは、私に向かって、「南無……」と手
を合わせ頭を垂れたのでした。(^^;)



最終日は飛行機の関係で私一人取り残されました。10年前にはなかった沖縄唯一の交通機関、モノレール(ゆいれーる)。時間があつたので、これに乗って那覇空港から終点の首里(それでも15分くらい)まで行き、首里城見学の小旅行を楽しみました。

子供の頃から乗り物が好きで、ラッキーなことに前が見える一番前の特等席を確保!しかし、このゆいレール、ビルの5階くらいの高いところを走行します。周りに保護するものが何もないので、ちょっと怖いです。歩くこと15分くらいで首里城到着。前に来たときと印象がずいぶん違っていました。守礼門から入り、歓会門といくつかの門を通って正殿に到着。



琉球建築とその彩色に感動します。中に入ると、黄金御殿・寄満、奥書院、近習詰所など新しく総檜で作られていました。

一人旅はやっぱりつまらないなあ~。話す人もいないので、そそくさと駅に向かいました。早く空港に行ってビールを飲もうとゆいレールにりましたが、お土産を買っていないのを思い出し、国際通り近くの駅で下車。「時間はまだ余裕のよっちゃんだな!」とブラブラと仲見世通りに入っていました。お決まりのお土産物屋さんが多い中、塩の専門店塩屋(まーすやー)がありました。色々な塩や調味料を見て結構楽しかったなあ。お土産の塩を安室奈美恵似のお姉さんから買って、近くにあった泡盛専門店に樹木希林似のおばちゃんから泡盛を買いました。

しかし...、入り組んだ迷路のような仲見世で迷子に。駅はどこ?「ジヅヅ、飛行機出発まであと50分しかない!第六感を働かせゆいレール下車駅の次の駅を目指す。7~8分歩いたところで、自分はひどい方向音痴だと言うことに気がついた。ちょうど誰かを職務質問していたおまわりさんに質問した。結局下車した駅に戻るのか...。測定器やら入っているカバンが肩に食い込む。何とか15分前に間に合いました。最後は汗汗でしたが、また行きたい沖縄です(*^_^*)

